

道連ニュース

2020年11月号 No.169

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目-3

こくみん共済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

道連第2回理事会報告

10月8日(木)ポールスター札幌を会場に開催されました。あさひかわ福祉生協倉島理事が議長に選出され、麻田会長からのご挨拶のあと、議決事項①次回(1月21日)理事会運営及び学習会・懇親会開催について—学習会は協同組合ネット北海道企画のオンライン視聴対応、懇親会は中止—②役員選定委員選任の件—生活クラブ高階理事に—③『北海道生協運動史増補改訂版』配本・送付の件—500部印刷、12月に会員生協・道外都府県生協連、道・市町村図書館、友好団体に配本—④大学生協の道連会費減免の件—特別な事情に鑑み20年度下期分・21年度分免除—⑤JCA(日本協同組合連携機構)加入の件—3号会員にて加入—⑥北の国災害サポートチーム協力会員に加入⑦北海道NPOファンドへの理事推薦(団体)の件の了承—について承認されました。

審議事項では、①こども食堂支援組織の今後と道生協連のかかわり方について、事務局より基本的考え方と関係者へのヒアリング状況を提案し、次回議決いただくこと②コロナ禍における大学生協等の影響と今後の支援について、大学生協と学校生協より報告を受け、一旦大学生協の道生協連会費の減免については承認されました。③寿都町・神恵内村の核のゴミ最終処分場

選定手続きに対する対応について、この間の経過から、町村首長には、「原子力発電所の使用済み核燃料から出る「高レベル放射性廃棄物」の最終処分場の第一段階となる「文献調査」の応募については、北海道の地域経済を支えている食産業や観光産業に大きな損害をもたらす恐れがありますので、撤回するよう要請します。」北海道知事には「寿都町・神恵内村に対し「高レベル放射性廃棄物」の最終処分場の選定の第1段階となる「文献調査」への応募は、特定放射性廃棄物に関する条例(核抜き条例)を踏まえ撤回するよう引き続き働きかけてください。」との要請文を送ることが了承されました。④協同組合ネット北海道主催「金子勝オンライン講演会企画」について提案され、了承されました。

報告事項は①一般活動報告②2020年度上期決算速報—経費未執行により経常剰余計画超過で進行③10月22日地方LPガス問題意見交換会での意見表明④労福協「政策・制度改正要請」への参画⑤こども食堂北海道ネットワーク支援報告⑥ヒバクシャ国際署名道民の会最終集約703,790筆の結果報告⑦道・友好団体他⑧日生協北海道東北地連報告についてなされました。

お知らせ！ ネット事務局会議で取組確認

10月16日の協同組合ネット北海道事務局会議で下記取組の確認がなされましたのでお知らせします。

○公開講演会開催について

日時 2021年1月20日(水)PM1:00から3:00まで

形式 オンラインリアルタイム公開講演会開催

講師 金子勝先生(立教大学大学院特認教授、慶應義塾大学名誉教授)

テーマ (仮)「世界と日本の変化と私たちの暮らしへの影響」

宣伝 講演会への参加方法は詳細が決定次第、道連HP・チラシ等でお知らせ

○「こども食堂北海道ネットワーク」への支援確認(2021年度事業計画で具体化)

事務局会議では、こどもたちを巡る環境変化・こども食堂活動の認知と評価・協同組合ネット北海道の役割等を鑑みて、各協同組合の状況に合わせて「ヒト・モノ・カネ」の支援を2021年度事業計画で具体化することが確認されました。

○「ゆる元指導者養成講座」開催決定

協同組合ネット北海道の独自開催として、ゆる元指導員養成講座を開催します。

定員 20人から30人

講座 必要時間6時間(一日3時間の二日間開催が一般的)

参加費 一人3000円+資料代1000円

注記 1月ごろの開催を目指しますが、詳細が決まり次第お知らせします。

第3回 SDGs 研究会をオンラインで開催

SDGs は2030年に向けて国連が合意した世界共通の目標ですが、それぞれの地域社会が直面する課題でもあります。コープさっぽろは生産者と組合員をつなぐことをはじめ、産学官連携や同じテーマに取り組むべき事業者・団体の間をつなぐことで、北海道における SDGs を推進しています。

具体的行動としてコープさっぽろは2019年7月に「北海道 SDGs 推進プラットフォーム」を設立しました。このプラットフォームの主催で「SDGs 研究会」を開催しています。2019年度はSDGs 総論、プラスチック問題をテーマとして2回の開催で580名の参加があるなど大変好評でした。

2020年度も6月に開催を予定していましたが、コロナ禍のため開催は延期になっていました。リアル開催の目処が立たないものの、SDGs 推進を後退させないために第3回を9月24日に YouTube 配信によるオンラインで開催しました。基調講演の講師は東京から配信していただくなど、感染拡大の防止に最大限の配慮を心がけました。

第3回のテーマは気候変動問題とし、地球環境戦略研究機関の藤野純一氏に基調講演「新型コロナウイルス感染症と気候変動、そして SDGs」という題目で講演をいただきました。また、研究報告として北海道立総合研究機構の品田晃良氏に「北海道のさかなと気候変動」、事例報告として北海道漁業協同組合連合会の中村信哉氏に「北海道の漁場環境保全

～ぎょれんの取り組み」として講演をいただきました。マクロな気候変動問題から北海道における気候変動の漁業へとミクロな構成とし、世界の課題を自社の取組に反映させる気づきになることを意図しました。

開催当日は100名を越えるライブ視聴がありました。ライブ配信後は自動的に録画配信になるため、誰でも気軽に参加できる利点があります。開催後も YouTube の視聴回数は増え続けています。参加者へのアンケート結果からもオンライン開催に肯定的な意見が多く、今後もオンラインで開催する予定です。



YouTube 配信画面

一般参加者は YouTube のライブ配信を視聴しました。チャット機能を活用した質疑応答も実施しました。



第3回 SDGs 研究会の配信会場

北海道 SDGs 推進プラットフォームの推進委員と北海道在住の講師だけがリアル会場に集まり、感染対策を行いました。